

ヤフオク!アプリ、商品の正面から側面まで撮影し、出品画像をさまざまな角度で閲覧できる「マルチビュー機能」を提供開始

～ Yahoo! JAPANがAR技術などを応用して独自開発し、ヤフオク!より導入開始 ～

ヤフオク!：マルチビュー機能

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、商品の多視点画像（以下、マルチビュー画像）を誰でも簡単に撮影できる「マルチビュー機能」を、AR（拡張現実）技術などを応用して独自開発し、インターネットオークションサービス「ヤフオク!」アプリ（iOS版、Android版）にて、本日より提供開始しました。



インターネットオークションやフリマサービスでの商品画像は、落札や購入を検討するユーザーにとって重要な情報です。「ヤフオク!」ではこれまで、スニーカーやフィギュア、家具などの商品の特徴を、より分かりやすく紹介したいという出品者の声や、商品をさまざまな角度から見て入札を検討したいという落札者の声がありました。

Yahoo! JAPANは、コンピュータによる視覚の実現を研究する分野であるコンピュータビジョンの技術や、スマートフォンのOS各社が提供するAR技術のフレームワークを活用し、ターンテーブルや専用カメラなど特殊な機材を使用せず、立体的な商品を多視点で撮影できる「マルチビュー機能」を開発しました。

このたび、本機能を、Yahoo! JAPAN内サービスで初めて「ヤフオク!」にて実用化しました。これにより、出品者は「ヤフオク!」アプリ上のガイドに沿って、簡単に商品のマルチビュー画像を撮影し出品画像として掲載できます。さまざまな角度から商品の特徴や状態を伝えられるた

[＜マルチビュー機能 使い方説明動画（「ヤフオク!」公式YouTube）＞](#)

ヤフオク!

マルチビュー画像の表示方法

Yahoo!



■技術の特徴

1) マルチビュー画像撮影：

ARアプリ開発フレームワークであるApple社のARKit (iOS)、Google社のARCore (Android) を応用し、カメラの位置と向きを推定、3Dモデルを用いた撮影アシストを実現しました。ターンテーブルや専用カメラなど特殊な機材を使用せず、簡単に多視点の画像を撮影できます。

2) リアルタイムな画像処理：

本来、多視点の画像の生成にはカメラキャリブレーション（※1）という技術が必要となり膨大な手間と計算リソースがかかりますが、AR（拡張現実）アプリ開発フレームワークを用いることで大幅なコスト削減を実現しました。また、スマートフォン搭載のGPU（※2）を活用し、CPU（※3）のみの処理と比較して、多視点の画像を生成するまでの時間を約400分の1に短縮しました。

Yahoo! JAPANは今後も、さまざまなサービスを支える先進的な技術を開発し、ユーザーや社会の課題解決に取り組んでまいります。

※1：カメラの位置や向きを画像から推定する技術

※2：3Dグラフィックスなどの画像描写に必要な演算処理を行う装置

※3：CPUがコンピュータの主力の処理を行う中心的な演算処理装置であるのに対し、GPUは画像処理に特化した演算処理装置

■[開発者による技術解説](#) (Yahoo! JAPAN Tech Blog)